

内部統制評価 SUGOROKU



プロジェクト立ち上げ エリア

プロジェクトメンバーの選任が遅れ、スタート待ち。
1回休み

自社で不祥事！社内に暗雲が立ち込める。
減ロ令で1回休み

他社で不祥事！経営者の認識が高まる。
1つ進む

社内外のプロフェッショナルを巻き込んで、全社プロジェクトを立ち上げた

Start

社外から優秀な人材を確保。
1つ進む

経営層に対する説明会を開く
1つ進む

🍏の場所で止まったらもう一度さいころを振り、出た目の数だけ進んでください。

文書化エリア

業務チームとITチームのコミュニケーションが図られずにプロジェクトが止まる。
1回休み

予期せぬ世界的パンデミックで、スケジュールに遅延発生！
1つ戻る

新たな会社を買収し子会社化。評価対象が拡大する。
2つ戻る

文書化マニュアルを完成させ、各部署に配布、研修を実施。
1つ進む

4つ進む
プロティビティの“Sox-in-a-Box”を導入

完成したフローチャートがプロセス間で繋がっていないことを発見！やり直し。
1つ戻る

運用状況評価 エリア

2つ進む
テスター研修を実施。多くのテスターを養成。

監査法人が交替！方針変更となる。
文書化マニュアル作成まで戻る

7つ進む
プロティビティがテストプランとGRCツール導入を支援

3つ戻る
監査人からEUC評価が必要との追加指摘。追加作業発生。

2つ戻る
テストで問題続発！文書化のやり直し。

6つ進む
監査人のドライランで、OKが出る。

3つ進む
監査人と不備の重要性判断について合意する。

4つ戻る
開示すべき重要な不備が発見される

3つ進む
全社的な方針・取組みで不備の改善を実施。

不備評価 エリア